令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査　利尻富士町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校2校・児童数14名（5年生）、中学校2校・生徒数21名

○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7利尻富士町男子	16.70	19.30	36.30	44.50	54.70	9.61	154.20	24.40	55.40
R7利尻富士町女子	18.00	19.00	40.00	45.00	57.75	9.33	157.00	16.67	62.33
R7北海道（公立）男子	16.76	19.33	34.37	42.49	47.16	9.67	152.02	21.85	53.60
R7北海道（公立）女子	16.29	18.12	38.71	40.25	36.13	9.95	144.25	14.04	54.61
R7全国（公立）男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国（公立）女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7利尻富士町男子	29.60	25.00	39.80	54.14	87.71	8.11	205.00	23.15	42.18
R7利尻富士町女子	20.17	19.67	38.83	44.33	46.17	9.27	166.83	11.20	42.00
R7北海道（公立）男子	29.63	25.61	43.58	50.36	75.24	8.17	195.81	20.57	41.05
R7北海道（公立）女子	23.17	20.85	45.62	44.40	46.84	9.16	162.75	12.34	45.62
R7全国（公立）男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国（公立）女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

小学校

中学校

○　質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

・運動やスポーツをすることは好きですか。

【児童質問調査】

・中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。

【学校質問調査】

・体育授業において毎時間ICTを活用している。

中学校

【生徒質問調査】

・運動やスポーツをすることは好きですか。

【生徒質問調査】

・中学校を卒業した後も、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。

小学校

・体育授業において毎時間ICTを活用している。

■　調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、男女ともに体力合計点、各種目のほとんどで全国・全道水準以上であり、とくにシャトルランや反復横とび、立ち幅とびが飛びぬけている。また、町内の男女間では女子の方が男子よりも点数が高い傾向にある。運動やスポーツが好きな児童が100%（やや好きを含む）であり、かつ地域のスポーツ少年団や習い事への加入・参加についても100%である。こうした状況は地域の指導者により、運動やスポーツに親しむ環境づくりが図られていることを裏付けている。また、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合も大半を占めている。中学校に進学しても自主的な運動・スポーツ機会を望む声が大きい。

【課題】

・中学校においても継続的に運動やスポーツに親しむ機会が損なわれない環境づくりが必要である。

中学校

【成果】

・中学校においては、男子と女子で運動やスポーツが好きな割合に差が出ている。体力合計点において、男子は全国水準で、女子は下回っている。各種目では、小学校同様、男子のシャトルランや反復横とび、立ち幅とびの数値が高い傾向にある。

【課題】

・男女ともに、体力合計点の向上のためには、体育授業等において、低い種目にかかわる部分の授業への採り入れやＩＣＴを活用した記録などをもとに、生徒同士での確認や技能向上を図る必要がある。

■　利尻富士町の体力向上に向けた改善方策

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料の作成及び普及啓発

・スポーツ庁の「ＩＣＴ端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進

・小中一貫教育を活かした小中間や同校種の交流授業のほか、中学校の専門教員による乗り入れの強化など、１校単独ではなく町全体での学習促進を図る。

・地域クラブや各種団体等、地域の指導力を活かし、運動やスポーツに親しむ機会を拡充する。